

## トマスよ 《ヨハネ 20章 24～29節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス様
- <sup>さま</sup>
- が来
- <sup>こ</sup>
- られたとき、いなかったのはだれでしょう？ 下
- <sup>した</sup>
- の文字
- <sup>もじ</sup>
- をなぞってね。

ト マ ス

- ② トマスは弟子
- <sup>でし</sup>
- たちの話
- <sup>はなし</sup>
- を信じ
- <sup>しん</sup>
- ましたか？ ○をつけてね。

- ◆ 信じ<sup>しん</sup>じた
- ◆ 決<sup>けつ</sup>して信じ<sup>しん</sup>ない

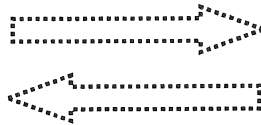


- ③ イエス様
- <sup>さま</sup>
- はもう一度
- <sup>いちど</sup>
- あらわれて、トマスに何
- <sup>なん</sup>
- と言
- <sup>い</sup>
- われましたか？
- 
- きょうのみ言葉
- <sup>ことば</sup>
- を、おぼえながら書
- <sup>か</sup>
- いてみよう！

ヨハネ 20章 29節

2. かんがえてみよう！

- ① トマスはどんなふうにか
- <sup>か</sup>
- わったでしょう？ 正
- <sup>ただ</sup>
- しい方
- <sup>ほう</sup>
- の矢印
- <sup>やじるし</sup>
- に色
- <sup>いろ</sup>
- をぬりましょう。

しん もの  
信じ<sup>しん</sup>ない者<sup>もの</sup>しん もの  
信じ<sup>しん</sup>る者<sup>もの</sup>

- ② あなたも、イエス様
- <sup>さま</sup>
- のことを聞
- <sup>き</sup>
- いて、信じ
- <sup>しん</sup>
- られないと思
- <sup>おも</sup>
- ったことはありますか？

【 はい / いいえ 】

- ③ それはどんなとき？ どんなこと？ はずかしがらずに、書
- <sup>か</sup>
- いてみよう！

【 \_\_\_\_\_ 】

《 おいのりしよう！ 》

天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様、私<sup>わたし</sup>も信じ<sup>しん</sup>られないときがあります。でも、見<sup>み</sup>なくても信じ<sup>しん</sup>ることができるよう  
に助<sup>たす</sup>けてください。イエス様<sup>さま</sup>のお名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>によって、おいのりします。アーメン。

# マリアよ 《ヨハネ 20<sup>しょう</sup>章 11～18<sup>せつ</sup>節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① お墓<sup>はか</sup>の外<sup>そと</sup>で泣<sup>な</sup>いていたのはだれですか？ 下<sup>した</sup>の文字<sup>もじ</sup>をなぞってね。

マ リ ヤ



- ② イエス様<sup>さま</sup>は泣<sup>な</sup>いているマリアに、何<sup>なん</sup>と言<sup>い</sup>ったでしょう？  
きょうのみ言葉<sup>ことば</sup>をおぼえながら書<sup>か</sup>いてみよう！

ヨハネ 20<sup>しょう</sup>章 16<sup>せつ</sup>節

- ③ マリヤはどんなとき、イエス様<sup>さま</sup>に気<sup>き</sup>づきましたか？ ○をつけてね。

★ イエス様<sup>さま</sup>を見<sup>み</sup>たとき

★ 名前<sup>なまえ</sup>を呼<sup>よ</sup>ばれたとき

2. かんがえよう！

- ① イエス様<sup>さま</sup>はどんなことを思<sup>おも</sup>って、マリヤを呼<sup>よ</sup>んだのでしょうか？ ○をつけね。

◆ おどろかそうと思<sup>おも</sup>って

◆ とても大切<sup>たいせつ</sup>に思<sup>おも</sup>って（愛<sup>あい</sup>）

- ② イエス様<sup>さま</sup>はあなたを愛<sup>あい</sup>して、あなたの名前<sup>なまえ</sup>も呼<sup>よ</sup>んでくださっていますよ。  
イエス様の愛<sup>あい</sup>を思<sup>おも</sup>い出<sup>だ</sup>しながら、となりの人<sup>ひと</sup>と、名前<sup>なまえ</sup>を呼<sup>よ</sup>びあってみましょう。

《 おいのりしよう！ 》

天<sup>てん</sup>のお父<sup>とう</sup>様<sup>さま</sup>、私<sup>わたくし</sup>を愛<sup>あい</sup>し、名前<sup>なまえ</sup>を呼<sup>よ</sup>んでくださってありがとうございます。マリヤのように、  
イエス様<sup>さま</sup>を愛<sup>あい</sup>しつづけ、イエス様<sup>さま</sup>のことを伝<sup>つた</sup>えることができるように助<sup>たす</sup>けてください。  
イエス様の名<sup>な</sup>前<sup>まえ</sup>によって、おいのりします。アーメン。

# ペテロよ 《ヨハネ 21 章 15～19 節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 復活されたイエス様は、ペテロに何を質問しましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ヨハネ 21 章 17 節



- ② イエス様は何回それをくりかえしましたか？

【        】回

- ③ その回数は何回でしたか？

あいているところを、□からえらんで書いてね。

【        】が

【        】を知らないといった回数。

イエス様

ペテロ

- ④ イエス様はペテロに何をしなさいと言われましたか？ 2つに○をつけてね。

★ 「わたしの羊を養いなさい。」

★ 「漁師にもどきなさい。」

★ 「わたしに従ってきなさい。」

2. かんがえよう！

あなたはイエス様を愛していますか？ 大好きですか？ 大切ですか？

【 はい / いいえ 】

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、イエス様が私を愛してくださってありがとうございます。私にも、イエス様を愛する愛をください。そして、どこまでもイエス様に従いつづけることができるように助けてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

しょうてん しゅ  
昇天の主

《使徒 1 章 1～11 節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 復活されたイエス様は、弟子たちに何をお命じになりましたか？

あいているところを、□からえらんで書いてね。

「【                      】から離れないで

父の【                      】を待っていなさい。」

やくそく

エルサレム

- ② 何がくだと、キリストの証人になると教えてくださいましたか？  
下の文字をなぞり、読んでみましょう。

せ い れ い (聖霊)

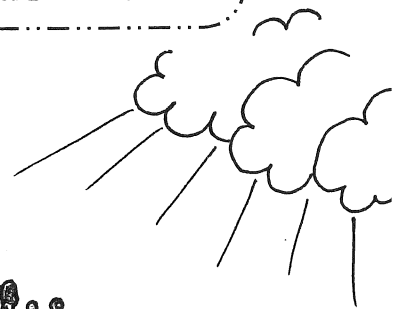
- ③ イエス様の昇天のようすについて、きょうのみ言葉をおぼえながら書きましょう！

使徒 1 章 9 節

- ④ み使いは弟子たちに、何を告げましたか？ ○をつけてね。

★ イエス様はもう来ません。

★ イエス様はまた来ます。



2. かんがえよう！

- ① あなたは聖霊を求めたことがありますか？

【 はい / いいえ 】

- ② イエス様がもう一度来られることを信じますか？

【 はい / いいえ 】



《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、イエス様が昇天されたこと、もう一度来られることを信じます。聖霊によるバプテスマを受けることができるように、私を導いてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

しんり みたま  
真理の御霊

《ヨハネ 16章 1～15節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① イエス様は何をつかわすと約束してくださいましたか？

下の文字をなぞり、読んでみましょう。

た す け め し

(助け主)

- ② それはだれでしょう？ ○をつけてね。

◆ みたま  
御霊

◆ かぞく  
家族



2. かんがえよう！

- ① 私たちをどこに導いてくれるのかな？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ヨハネ 16章 13節

- ② 真理の御霊は何を教えてくださいか？ あてはまるものすべてに○をつけましょう。

★ つみ

★ みつ

★ つばき

★ き

★ ぎ

★ さばき

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、助け主である真理の御霊を与えてください。罪、義、さばきのことが、もっとよくわかるように教えてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

せい れい こう りん  
聖霊降臨

《使徒 2章 1～21節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① 弟子たちは集まって、何をしていましたか？ ○をつけてね。

◆ 心を合わせて祈っていた

◆ 聖霊を待っていなかった

② 聖霊が降ったとき、弟子たちはどうなりましたか？

あいているところを、□からえらんで書いてね。

いろいろな【 】の言葉で

【 】の大きな働きを語った。

かみ  
神  
くに  
国

③ ペテロは何を語りましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 2章 17節

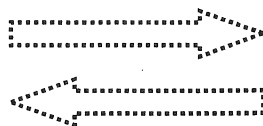


2. かんがえよう！

聖霊を受けたペテロはどのように変わりましたか？

正しい方の矢印に色をぬりましょう。

ものの  
おくびょう者



ちからづよ  
力強くみ言葉を語る人

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、聖霊を与えてくださることを感謝します。私も、神様のみ言葉を力強く語ることができるよう助けてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

# せいれい たまもの 聖霊の賜物

《使徒 2章 36～47節》

## 1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ペテロの説教を聞いて、人々は何に気づきましたか？

あいているところを、□からえらんで書きましょう。

【                      】を信じないで

【                      】につけてしまったこと。

イエス様

ペテロ

十字架

- ② ペテロはその人々に、何をするように言いましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 2章 38節

- ③ 聖霊を受けた人たちは、何をしていましたか？ ○をつけましょう。

★ 物の分け合い

★ 物のとりあい

★ 仲間はずれ

★ 賛美

★ 礼拝

★ ゲーム

## 2. かんがえよう！

- ① あなたもイエス様を十字架につけたと思いますか？

【 はい / いいえ 】

- ② あなたはバプテスマを受けたいですか？

【 はい / いいえ 】



《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、イエス様の十字架は私の罪のためでした。ごめんなさい。バプテスマを受けることができるように導いてください。そして、罪をきよめて、聖霊で満たしてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

せいれい うつわ  
聖霊の器

《使徒 6章 1～7節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 教会に、どんなもめごとが起きましたか？

あいているところを、□からえらんで書きましょう。

【                      】の食物について

かもめ

やもめ

- ② 使徒たちが一番大切にすべきことは何でしょう？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 6章 4節



- ③ 使徒たちを助けるために選ばれたのは、どんな人たちですか？ ○をつけてね。

★ 御霊と知恵に満ちた人

★ 評判の悪い人

2. かんがえよう！

- ① あなたの教会で、み言葉を伝えている人はだれですか？

【

】

- ② あなたはその人のために、どんなお手伝いができるかな？

【

】

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、私を御霊と知恵で満たしてください。神様のために役立つ者としてください。  
イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。





# サムエル 《サムエル<sup>じょう</sup>上 3章<sup>しょう</sup>1～14<sup>せつ</sup>節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① サムエルの名前<sup>なまえ</sup>を呼<sup>よ</sup>んでいたのはだれですか？

★ かみさま  
神様

★ せんせい  
エリ先生

② サムエルはどのように答<sup>こた</sup>えましたか？

きょうのみ言葉<sup>ことば</sup>をおぼえながら書<sup>か</sup>いてみよう！

サムエル<sup>じょう</sup>上 3章<sup>しょう</sup>9<sup>せつ</sup>節



③ そのとき、神様<sup>かみさま</sup>はサムエルに語<sup>かた</sup>ってくださいましたか？

【 はい / いいえ 】

2. かんがえよう！

① サムエルはどんな人<sup>ひと</sup>になったかな？ 【 】にあてはまる言葉<sup>ことば</sup>を書<sup>か</sup>きましょう。

【 】の言葉<sup>ことば</sup>を伝<sup>つた</sup>える人<sup>ひと</sup>

② 神様<sup>かみさま</sup>は私<sup>わたし</sup>たちにも語<sup>かた</sup>りかけてくださいますよ。何<sup>なに</sup>によってかな？ ○をつけてね。

★ せいしょ  
聖書<sup>ことば</sup>のみ言葉

★ まほう  
魔法<sup>ことば</sup>の言葉

《 おいのりしよう！ 》

天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様、サムエルのように、神様<sup>かみさま</sup>のみ言葉<sup>ことば</sup>をきいて、お祈<sup>いの</sup>りする子<sup>こ</sup>どもにしてください。  
イエス様<sup>さま</sup>のお名前<sup>なまえ</sup>によって、おいのりします。アーメン。

# アナニヤ 《使徒 9章 1～19節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① アナニヤはどんな人ですか？ 下の文字をなぞって、読みましょう。

アナニヤは **ダマス** **コ** の町に住む、  
**イエス** **さま** を信じる弟子です。

② 主が呼びになったとき、アナニヤは何と言ったでしょう？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 9章 10節



③ アナニヤはサウロのもとに行きましたか？

- ◆ こわくて行かなかった
- ◆ 主に従って行った

2. かんがえよう！

① あなたはこわいと思う人がいますか？ 【 はい / いいえ 】

② イエス様はあなたとその人のために、何をしてくれたかな？ ○をつけてね。

★ しかえしをしてくれた

★ 十字架で死んでくれた

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、私がこわいな、いやだなと思う人にも、み言葉を伝えることができるように助け  
てください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

# バルナバ 《使徒 9章 26～31節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① サウロを<sup>しん</sup>信じてくれた人<sup>ひと</sup>はだれですか？

きょうのみ<sup>ことば</sup>言葉をおぼえながら<sup>か</sup>書いてみよう！

使徒 4章 36節

② バルナバはサウロのことを、どんなふう<sup>せつめい</sup>に説明しましたか？ ○をつけてね。

◆ サウロはとても<sup>わる</sup>悪い人<sup>ひと</sup>です。

◆ イエス様<sup>さま</sup>が語り<sup>かた</sup>かけた人<sup>ひと</sup>です。

◆ イエス様<sup>さま</sup>を<sup>つた</sup>伝える人<sup>ひと</sup>です。



③ バルナバたちは、だれに<sup>はげ</sup>励まされて<sup>あゆ</sup>歩みましたか？ ○をつけてね。

★ ユダヤ人<sup>じん</sup>

★ 聖霊<sup>せいれい</sup>

2. かんがえよう！

① あなたの<sup>まわ</sup>周りに、ひとりでさみしい<sup>おも</sup>思いをしているお友だち<sup>とも</sup>はいますか？

【 はい / いいえ 】

② イエス様<sup>さま</sup>から愛<sup>あい</sup>をいただいているあなたは、その人<sup>ひと</sup>のために、何<sup>なに</sup>ができるかな？

【 】

《 おいのりしよう！ 》

天<sup>てん</sup>のお父様<sup>とうさま</sup>、バルナバのようななぐさめの子<sup>こ</sup>にしてください。どんな人<sup>ひと</sup>も愛<sup>あい</sup>して、助け<sup>たす</sup>てあげることができるようにしてください。イエス様<sup>さま</sup>のお名前<sup>なまえ</sup>によって、おいのりします。アーメン。

# クリスチャン

《使徒 11 章 19～26 節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① だれがアンテオケにつかわされましたか？ 下の文字をなぞってね。

バルナバ

② 弟子たちは何と呼ばれるようになりましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

使徒 11 章 26 節



③ クリスチャンとは、どういう意味ですか？ ○をつけてね。

★ バルナバにしたがのものに従う者★ キリストにしたがのものに従う者

2. かんがえよう！

クリスチャンになるために、大切なことは何でしょう？

あいているところを□からえらんで、番号を書きましょう。

かみさま まえ  
神様の前に【     】のつみ こくはくを告白し、

【     】がわたしの【     】のために

【     】で死なれたことを信じること。

1. イエス様

2. わたし

3. 十字架

4. 罪

《 おいのりしよう！ 》

天のお父様、イエス様の十字架は、私の罪のためだと信じます。私もバルナバのように、聖霊に満たされた力強いクリスチャンにしてください。イエス様のお名前によって、おいのりします。アーメン。

# ワークB解説 4~6月

4/6

- 質問1 イエス様が弟子たちのところに来られたとき、トマスだけが一緒にいませんでした。復活されたイエス様にお会いしたという弟子たちの話を聞かされても、トマスは自分で見て、触るまで、決して信じないと言ったのです。イエス様は疑い深いトマスに現れてくださり、求めることに応えてくださいました。そして、見ないで信じる者のさいわいを教えてくださいました。
- 質問2 トマスはイエス様の<sup>あわ</sup>憐れみのゆえにお会いし、信じない者から信じる者へと変えていただきました。子どもたちも、トマスのように、イエス様のことを素直に信じられないときがあるかもしれません。それを恥ずかしがらずに話せる場をつくり、見なくても信じることができるようにと共に祈り、神様に助けていただきましょう。

4/13

- 質問1 イエス様のお墓が空っぽだったのを見たマリヤは、お墓の外に立って、泣いていました。イエス様があらわれたとき、イエス様を見ても気付くことができませんでした。しかし、イエス様がいつものように彼女の名前を呼ばれると、それがイエス様だと気付くことができました。
- 質問2 イエス様はマリヤを愛し、とても大切に思って、彼女の名前を呼んでくださいました。イエス様の愛が彼女の心を開き、目の前にいるお方がイエス様だと気付かせてくださったのです。私たちはイエス様の声を、直接聞くことはできませんが、イエス様は一人一人の名前を呼んでくださっています。イエス様の愛を分かち合う時として、イエス様の愛を覚えつつ、互いに名前を呼び合ってみましょう。

4/20

- 質問1 復活されたイエス様は、裏切ったペテロをも見捨てず、愛し続けてくださいました。そして、「わたしを愛するか」と三度も尋ねてくださり、ペテロに、イエス様のもとへ帰り再出発するチャンスを与えてくださいました。それは、ペテロがイエス様を知らないと言ったのと同じ回数でした。さらに、イエス様はご自分の羊を任せ、従うようにと命じてくださいました。
- 質問2 イエス様は私たちを愛してくださっています。そして、「わたしを愛するか」と語りかけてくださっています。私たちはイエス様を愛しているでしょうか。神様からイエス様を愛する愛をいただき、神様を愛し、どこまでもイエス様に従い続けることができるように、共に祈りましょう。

4/27

- 質問1 復活されたイエス様は弟子たちに、エルサレムから離れないで、父の約束を待つようにとお命じになりました。聖霊がくだる時、地の果てまでキリストの証人になることを教えてくださいました。また、イエス様の昇天後、み使いは彼らにイエス様の再臨を伝えました。
- 質問2 神様は求める者に聖霊を与えてくださいます。私たちも神様の約束を信じて、イエス様の再臨を待ち望みましょう。

5/4

- 質問1 弟子たちは、イエス様が去られるという話を聞き、心は悲しみに満ちていました。しかし、イエス様は助け主なる真理の御霊を遣わすと約束し、励ましてくださいました。
- 質問2 真理の御霊は、私たちを真理に導いてくださいます。罪と義とさばきについて、私たちの目を開いてくださいます。私たちも真理の御霊を求め続けましょう。罪について示されたのなら、素直に悔い改めましょう。義とさばきについて、目が開かれたならば、素直に信じましょう。

5/11

- 質問1 イエス様が昇天されてから、弟子たちは共に集まり、心を合わせて祈り、聖霊を待ち望んでいました。五旬節ごしゅんせつの日も同じように祈っていると、彼らは聖霊に満たされ、御霊が語らせてくださるままに、いろいろな国の言葉で、神様の大きな働きについて話し出しました。ペテロもヨエルの預言を語り、み言葉の成就を示しました。
- 質問2 ペテロは臆病者おくびょうものでしたが、聖霊を受けて、力強くみ言葉を語る人に変えられました。私たちも聖霊に満たされて、確信をもって、力強くみ言葉を語る者とならせていただきますように。

5/18

- 質問1 ペテロの説教を聞いた人々は、自分たちがイエス様を十字架につけたことを悟りました。ペテロはその人々に、悔い改めて、イエス・キリストの名によるバプテスマを受けるようにと教えました。その日、3000人もの人々がバプテスマを受けました。聖霊を受けた人々は共に集い、神を賛美し、物を分け合い、礼拝をささげていました。
- 質問2 イエス様を十字架につけたのが、自分であると気付くことは幸いです。イエス様の十字架は私の罪のためだと認め、悔い改めて、洗礼を受ける備えをしましょう。日々、主によって、罪を聖めていただき、聖霊の賜物に満たしていただきましょう。そして、互いに、主にある幸いな交わりをもちましょう。

5/25

- 質問1 弟子の数が増えてくるにつれ、教会内に、やもめの食物についてのもめごとがおきました。使徒たちは愛をもってその問題に取り組んでいましたが、祈りとみ言葉の奉仕がおろそかになってきたため、7人を選んでもらい、その仕事を任せることにしました。選ばれた人たちは、御霊と知恵に満ちた、評判のよい人たちでした。
- 質問2 み言葉を伝えている人たちのために、お手伝いできることは何か考えてみましょう。それは、その人を助けるだけでなく、神様のための奉仕につながります。御霊と知恵に満たしていただき、神様のご用のために役立つ者とさせていただきますように。

6/1

- 質問1 御霊と知恵に満たされていたピリポは、いつも御霊に導かれました。荒れ果てたガザへ行くように、また、宦官かんがんの馬車に近付くように言われた時も、素直に従って行きました。そして、ピリポはイザヤ書を読んでいた宦官に、み言葉を通して、イエス様のことを大胆に語ることができました。宦官はすぐにイエス様を信じ、洗礼を受けることができました。
- 質問2 私たちも日々、御霊に導かれて歩み、み言葉に聞き従う者とならせていただきますように。イエス様のことを知らない人がたくさんいます。語るチャンスと語る言葉を与えてくださいと祈り、いつでも大胆に語るができるように備えましょう。

6/8

- 質問1 サムエルは名前を呼ばれたとき、それが神様であると悟ることができませんでした。エリに教えていただいたように、「しもべは聞きます。主よ、お話をください」と答えたとき、神様は彼に語ってくださり、み心を示してくださいました。
- 質問2 その後、サムエルは神様のみ言葉を忠実に伝え、行う人となりました。今も、神様は聖書のみ言葉を通して、私たちにも語りかけてくださいます。サムエルのように、み言葉に聴き従う姿勢で祈る者とならせていただきますように。

6/15

●質問 1 アナニヤはダマスコの町に住む、イエス様を信じる弟子の一人でした。主が彼の名前をお呼びになったとき、アナニヤは神様のみ言葉を聴く姿勢で、「主よ、私でございます」と答えました。主が迫害者サウロのもとへ行くように言われると、アナニヤは恐れや人のうわさではなく、主の言葉に従って行きました。

●質問 2 怖いな、嫌だなと思う人がいるでしょうか。イエス様はその人のためにも、十字架にかかって死んでくださいました。アナニヤのように、主の言葉を信じて従い、み言葉を伝える者とならせていただきますよう。

6/22

●質問 1 迫害者サウロがイエス様を信じたことを、エルサレムにいた弟子たちは信じることができず、恐れていました。しかし、バルナバだけは彼を信じました。サウロはイエス様が語りかけられた人であり、イエス様のことを伝える人であるとみんなに説明しました。教会は迫害の中にありましたが、バルナバたちは聖霊に励まされて歩み続けました。

●質問 2 私たちの周りにも、一人で寂しい思いをしている人がいるかもしれません。イエス様から愛をいただいた私たちは、その人のために祈り、友となり、愛を分け与え、助けてあげるバルナバのような慰めの人にならせていただきたいですね。

6/29

●質問 1 イエス様を信じる人々は、ますます増え続けました。エルサレム教会からは、バルナバがアンテオケに遣わされ、主への信仰を揺るがない心で持ち続けるようにと励ましました。そして、バルナバはサウロを呼び寄せ、彼と協力して主の福音を宣べ伝えました。そして、アンテオケで初めて、弟子たちがクリスチャン（キリストに従う者）と呼ばれるようになりました。

●質問 2 私たちもクリスチャンになることができます。そのために大切なことは、神様の前に自分の罪を告白し、イエス様が私の罪のために十字架で死なれたということを信じることです。私たちも主にあって、バルナバのような、御霊に満たされた力強いクリスチャンにならせていただきますよう。